



## 課題の特徴（形状や組立機構の魅力、加工難易度）

### 形状や組立機構の魅力など

- ・「3輪自動車」であることを強調するためにハンドルや椅子等の内装に拘りを持って設計しました。
- ・キャビの円筒形状にコアピンが入る仕様になっている為高度な穴位置精度が求められます。
- ・選手自身が競技中に寸法の管理ができるように測定が困難にならない設計工夫をいたしました。
- ・成形品の組付けに成形品の幅、位置寸法が大きく影響するので高精度な加工が求められます。

### 加工難易度など

- ・両プレート正確な位置に穴加工を行わなければ金型の嵌め合わせが困難になります。
- ・加工ボリュームは昨年「産業用ロボット H」と同程度となるよう設計してある為、適正だと考えます。
- ・成形品の組付けに小径刃具の加工精度が必要になります。
- ・コア形状で大きく肉抜きされている箇所や肉厚のある箇所が混在する為、成形条件等で対策する必要があります。
- ・ザグリ形状や幅の狭い面が存在する為、磨きで差が付きやすいポイントになると考えます。

